（第２号様式）

神奈川県教育委員会教育長　殿

令和４年４月 27 日

県立住吉高等学校長

令和４年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の進路選択に適合する教育課程を編成し、組織的な授業改善に取り組む。 ②情報活用能力、論理的思考力や他者と協働した問題解決能力を身につけさせる授業を実践する。	①探究的な学びを発展させて生徒の進路希望を実現できるよう、組織的な授業改善に取り組む。 ②すべての教科において、プログラミング的思考力の育成を推進する。	①課題の設定から問題解決までのプロセスを意識させる授業展開を研究する。 ②教科指導や探究の時間、学級活動など、あらゆる場面でプログラミング的思考力が育まれるような活動を展開する。	①組織的な授業改善に取組むことができたか。 ②プログラミング的思考力や他者との協働による問題解決能力を育成できたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 ②生徒の自己肯定感及び自己有用感を育成し、コミュニケーション能力を身につけられる指導を実践する。	①生徒一人ひとりの状況を把握し、必要な支援を行う。 ②生徒が様々な人と関わることで、社会性を身につけ、自己肯定感や自己有用感が向上するよう支援する。	①面談等を通して把握した生徒情報を、担任、学年団、教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラーと共有し、外部機関と連携しながら対応する。 ②部活動、生徒会活動におけるボランティア活動に加え、一般生徒のボランティア活動への意識向上を図り、ボランティア活動参加の機会、参加生徒数を増やす。	①生徒情報を学年会やグループ会議、生徒情報連絡会で共有し、必要に応じて外部機関と連携したか。 ②地域との連携活動やボランティア活動への参加生徒数が増加したか。					
3	進路指導・支援	より質の高い進路目標を生徒が自ら設定し、自主的に準備に取り組めるよう進路指導の充実を図る。	生徒が主体的に自らの進路選択をし、それを実現できるような指導・支援を充実させる。	○生徒が主体的に進路選択できるよう、進路説明会の実施や最新の情報提供、個別指導などの丁寧な進路指導を行う。	○「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」において、キャリア教育の成果に係る回答の満足度が、85％を超えているか。					
4	地域等との協働	地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	本校への理解を深めてもらうために、本校の教育活動を積極的に広報するとともに、地域に開かれた学校として地域との信頼関係を築く。	①学校説明会などを通して本校の教育活動を理解してもらう。 ②HPの内容を充実し、こまめに更新する。	①参加者に満足してもらえたか。 ②HP をこまめに更新できたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
５	学校管理 学校運営	すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。	高校教育を取り巻く様々な課題に協働して対処していく体制をつくる。	○一人一台端末やBYODを活用した授業スキルを身につける。	○一人一台端末やBYODを活用した授業に取組めたか。					